

全国月間火山概況

桜島の昭和火口では、噴火活動が活発な状態で経過しました。今後、更に火山活動が活発化する可能性も考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に対する警戒が必要です。火口周辺警戒（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

霧島山（新燃岳）では、火山性地震が増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過しました。新燃岳火口から概ね1 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、噴火が断続的に発生しました。火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

9月8日現在の各火山の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 9月8日現在の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル 及びキーワード | 該当火山 |
|--------------------|--------------------|---|
| 火口周辺警戒 | レベル3 (入山規制) | 桜島 |
| | レベル2 (火口周辺規制) | 三宅島、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島 |
| | 火口周辺危険 | 硫黄島 |
| 噴火警戒及び火山現象に関する海上警戒 | 周辺海域警戒 | 福徳岡ノ場 |
| 噴火予報 | レベル1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

吾妻山[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

大穴火口の噴気の高さは、50～700mで推移し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

5日に実施した現地調査では、前回(2010年5月16日)と比較して、大穴火口の地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。

23日に、大穴火口の噴気孔下方で硫黄の燃焼と思われる煙が上がっているのを遠望カメラで確認しました。翌24日、福島県防災ヘリコプターによる観測でも噴気孔下方からの煙が確認されたことから、硫黄の燃焼が続いていたと考えられます。同様の現象は、2010年5月6日及び7月9日にも確認されています。

火山性地震は2009年10月以降、2010年7月にかけてやや多い状況が続いていましたが、8月に入り少ない状況となっています。1日15時43分から約4分間にわたって火山性微動を観測しました。火山性微動を観測したのは5月27日以来です。

地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので警戒が必要です。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね100～400mで推移しました。

3日および25日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり1,100～1,600トン(前回7月14日、800～1,100トン)で、依然として多量の火山ガス放出が続いています。

三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。

国土地理院の観測によると、島全体の隆起を示す地殻変動が2006年8月に始まり、2009年10月頃からは停滞していましたが、今年5月頃から再び現れています。6月以降はやや鈍化した時期はあるものの、隆起は継続しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部(井戸ヶ浜等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に対する警戒が必要です。

福岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測では、これまでも福岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山性地震は増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過しました。

噴煙活動は静穏に経過しました。

GPS連続観測では、2009年12月頃から山体膨張を示すわずかな基線の伸びが続いています。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、噴火の多い状態で経過しました。噴火が72回(7月:87回)発生し、そのうち爆発的噴火は64回(7月:77回)でした。これらの噴火に伴い、最も遠くまで飛散した大きな噴石は4合目(昭和火口から800m~1,300m)まで達しました。火砕流は、観測されませんでした。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

4日、12日及び19日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量の一日あたりの平均は500~600トン(7月:900~3,400トン)とやや少ない状態でしたが、ごく小規模な噴火が断続的に発生していた6日、26日の現地調査では、1,500~1,800トンと多い状態でした。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。

桜島の噴火活動は、活発な状態で経過しました。今後、更に火山活動が活発化する可能性も考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山性地震はやや多い状態で経過しました。

噴煙活動は雲のため山頂部を確認できた時間が少なく、一時的に噴煙が観測される程度でした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火は11回(7月:4回)でした。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成22年9月8日現在）

(1) 主な活火山

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|------------------|--------------|-------------------------|--|
| 北海道地方 | 雌阿寒岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 十勝岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 樽前山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 倶多楽 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 有珠山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 北海道駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 恵山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 東北地方 | 岩木山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 岩手山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 秋田駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 栗駒山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 吾妻山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 安達太良山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 磐梯山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島 | 那須岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 草津白根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 |
| | 浅間山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新燃焼山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 御嶽山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 白山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 富士山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 箱根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 伊豆東部火山群 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 伊豆大島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 三宅島 | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 八丈島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 硫黄島 | 火口周辺警報（火口周辺危険） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） |
| 福徳岡ノ場 | 噴火警報（周辺海域警戒） | 2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒） | |

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|-----------|----------|---------------------|--|
| 九州地方・南西諸島 | 九重山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 阿蘇山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 雲仙岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 霧島山（新燃岳） | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 霧島山（御鉢） | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 桜島 | 火口周辺警報（レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） |
| | 薩摩硫黄島 | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 口永良部島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 諏訪之瀬島 | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（2）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

| | 火山名 |
|-------------------|--|
| 北海道地方 | 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |
| 東北地方 | 恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳 |
| 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島 | 高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山 |
| 中国・九州地方及び南西諸島 | 三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山 |